

I. 次の楽曲はメンデルスゾーン作曲、弦楽四重奏曲 第2番 第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かされている音の上に主音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)
(音程)

①	完全5度	②	短3度	③	長7度	④	増2度
⑤	減11度 (oct 減4度)	⑥	増1度	⑦	長3度	⑧	短6度

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a) (b) で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ⑦を下属音とする和声短音階

(b) ⑦を第Ⅲ音とする長調の第Ⅵ音を主音とする旋律短音階

3. 次の(c) (d) で示される音階を、調号を用いずに右の五線に主音から上行形で書きなさい。(3点×2=6点)

(c) ⑦を導音とする長音階

(d) ⑤を属音とする和声短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

(1) 種類	増三和音	転回形	第1転回形	(2) 種類	減七の和音	転回形	第2転回形
(3) 種類	短三和音	転回形	第1転回形	(4) 種類	属七の和音	転回形	基本形
(5) 種類	長三和音	転回形	基本形				

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい(短調は和声短音階とする)。(a～c: 2点×4=8点、d: 1点×7=7点)

- a. (1)をⅢ度の和音とする調の《 同主調 》はト長調である。
- b. (5)を下属和音とする調の平行調は[ロ短調]である。
- c. (3)を主和音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を属調とする調は[変ホ短調]である。

- d. 長音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。
- I { 長三和音 } II { 短三和音 } III { 短三和音 } IV { 長三和音 }
- V { 長三和音 } VI { 短三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

<i>affettuoso</i>	10
<i>piu u piu</i>	4
<i>legato</i>	14
<i>giocoso</i>	6
<i>senza tempo</i>	2
<i>Allegretto</i>	8
<i>lamentoso</i>	12

- 意味:
- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. <i>Allegro</i> より速く | 8. <i>Allegro</i> よりやや遅く |
| 2. 自由な速度で | 9. 激しく |
| 3. もとの速さで | 10. 愛情を込めて |
| 4. 少しずつ | 11. 重々しく |
| 5. 素朴に | 12. 悲しげに・哀れに |
| 6. おどけて・楽しげに | 13. 非常に |
| 7. 音を短く切って | 14. なめらかに |

IV. 次の旋律 AB の調名を答えなさい。また、楽曲 C は転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C

- A Ⅰ長調 B Ⅱ短調
- C (い) 変ホ長調 (ろ) ハ短調
- (は) 変ロ長調 (に) 変ロ短調